

初めに

- 見積元 E2(以降 見積元)は、Excelを利用した電気設備見積作成用、Excelソース(Book)です。
WindowsPC Excel2013以降で動作確認済みです。
- 見積元使用の際は、マクロを有効にしてください。
- 見積元は、
見積入力の煩わしさをクリック入力で軽減し、見積に費やす時間を短縮出来ます。
また、見積元をコピー使用が出来るので、ノートPC・タブレット(Win)で場所を問わず見積もりができます。
見積元を使用することにより、見積時間の短縮と工事受注に貢献出来れば幸いです。

※下記『見積元 使用上の注意事項』に、必ず目を通して使用して下さい。

重要 ※OneDrive上で同期するには、見積元上位フォルダ右クリックでこのデバイス上で常に保持するに、
チェックを入れて下さい。
同期中頻繁に問題がはっせいする場合はローカルフォルダで使用してください。

見積元 使用上の注意事項

- ・ 見積元にて提供するDATAの正確性・妥当性については、細心の注意を払っておりますが
その保証をするものではありません。
- ・ 見積元利用によって利用者等に何らかの損害が発生したとしても、かかる損害については
一切の責任を負うものではありません。
- ・ 見積元の利用により、データの損失その他あらゆる不具合、不都合が生じた場合についても、
一切の責任を負いません。
- ・ 掲載されたDATAに誤りがあった場合や第三者による見積元のDATA変更等によって生じた障害等に関し、
一切の責任を負うものではありません。
- ・ 見積元を、製作者に無断で配布ならびに販売する事を一切固く禁じます。

見積元 取扱説明書

目 次		
基本操作編	内 容	ページ
01－初期設定	見積元 初期起動説明	2
02－初期画面	見積元 起動後画面と説明	2
03－見積作成手順	見積基本データ入力（工事設定・見積設定フォーム説明）	3
	総括の入力と登録（工事設定・総括フォームの説明）	4
	総括明細の入力（工事設定・部材検索フォーム説明）	5-7
	経費入力（工事設定・経費フォーム説明）	8
	見積の印刷（工事設定・印刷フォームの説明）	9
04－見積作成上の注意	見積別途計上・見積元 使用上の注意	10
05－新バージョン移行方法	見積元 新バージョンへの更新方法	11
06－データ読み込みエラー	データ読み込みでエラーが発生した場合は	12
フォーム編	フォーム名	
各フォームを吹き出しで 説明しています。	機能キー	1
	工事設定（見積設定、工事種別、経費、印刷）	2-3
	部材検索	4
	改修費 ・ 電卓	5
	分電盤 ・ 制御盤	6
	土工費算出	7
	設計計算 1 ・ 2 ・ 3	8-9
	設定1（端数処理・インポート・エクスポート）	10
	設定2（見積No作成・自社データ・顧客管理）	11
	データ貼付 ※外部エクセル取込み	12
	分類変更 ※部材の変更登録	13-14
	明細画面のボタンと操作説明 原価・単価計算	15

※見積元本体は保管し、コピーした見積元を使用して下さい。

右の参考欄のページは、操作の詳細説明及びポイントの記載があります。

参考

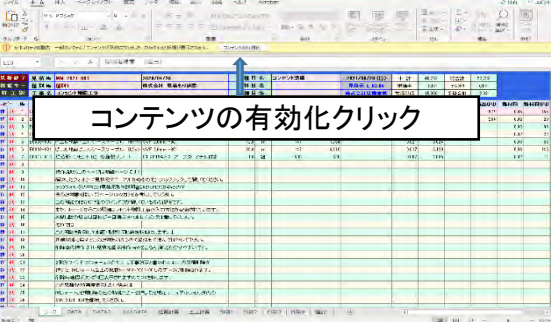
参考ページ

01-初期設定

見積元初期操作手順

- 1 解凍したフォルダ“01見積元E2”→“01見積元E2”の中に見積本体★見積元 E2”があります。
フォルダ名称“01見積元E2”のフォルダ名は変更自由です。
見積本体名称“見積元 E2”も変更可能ですが、変更後起動の際セキュリティの警告(一部のアクティブコンテンツ・・・以下省略)のコンテンツを有効にしてください。
- 2 “★見積元 E2”を起動→(図-1)マクロが無効になったらコンテンツを有効にしてください。
※フォルダが存在しないメッセージが表示されたら、確認事項を読みOKをクリックして下さい。

(図-1)



コンテンツの有効化クリック

データがない場合メッセージが表示されます

詳細は、DATA編参照

注意 ※Office365の場合、自動保存オフで起動しますがオンにしないで下さい。

02-初期画面

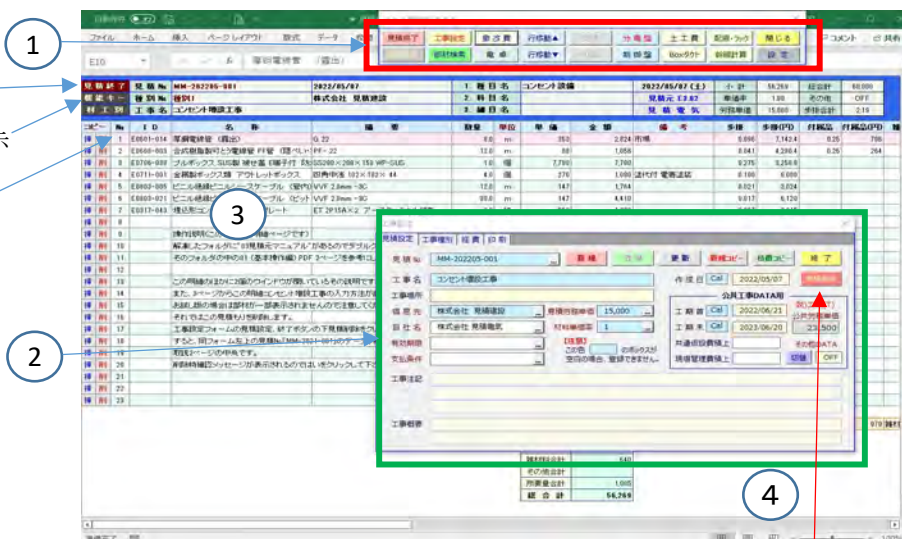
(図-2)が見積初期画面です。この画面から見積もりを作成します。

(図-2)

見積終了

機能キー表示

アクティブ行



フォーム編-01

フォーム編-02

①～③の説明

① 赤枠が機能キーフォーム

② 緑枠が工事設定フォーム

③ 明細入力画面(ピンク色がアクティブ行) 表示されない場合はスクロールして下さい。

各キー操作の詳細は、DATA編参照

※このボタンで現在の見積を削除します

Point

※機能キーは初期起動時、Book上段へ表示されます。
フォームの黄色ボタン閉じる・終了でフォームを非表示にできます。
機能キーを再表示する場合は明細左上2行目セル内の文字“機能キー”をクリックしてください。
機能キーの上段、左から2番目のボタンが②の工事設定フォームを表示するボタンです。

見積作成の手順

見積は下記手順で作成します。

1. 見積基本データ(工事名等)の入力 (工事設定フォーム見積設定ページ)
2. 工事種別名(種目・科目・細目)の入力 (工事設定フォーム工事種別ページ)
3. 各種目・科目・細目へ明細を入力(直接入力または部材検索フォームからの選択)
4. 経費等の入力・収支計算 (工事設定フォーム経費ページ)
5. 印刷または見積データ出力保存 (工事設定フォーム印刷ページ)

見積を終了するには、機能キー左上の「見積終了」ボタンか
見積本体明細シートの左上にある「見積終了」ボタンで終了して下さい。

Point

終了時Excelの上書き保存の必要はありません。Office365自動保存オフでも同様です。

03-見積作成手順

※まず、見積元明細No.9～20の説明を読んだら、見積削除で初期状態にしてください。前ページ④

フォーム編-02

実際に1.～5. の手順で見積もりを作成しながら各キーの説明をします。

1 見積基本データ等の入力

下記、作成する見積内容 枠は入力必須項目です。

1- ① ※説明では→項目を入力します。入力概要・入力方法を参考に実際に入力して下さい。

入力項目	入力内容	入力概要・入力方法
見積No.	MM-2024-001	新規ボタンをクリック→説明を参考
作成日	202*/**/**	Cal.ボタンを押してカレンダーより入力
工事名	コンセント増設工事	直接入力
着工日	202*/**/**	Cal.ボタンを押してカレンダーより入力
竣工日	202*/**/**	"
工事場所		直接入力
得意先	株式会社見積建設	直接入力またはリスト選択入力
自社	株式会社見積電気	"
支払条件		"
有効期限	60日以内	直接&リスト入力 ここではリスト入力
労務単価	15,000	リスト入力
材料単価	1	"
工事注記		直接入力
工事概要		"
共通仮設費積上		直接入力 ※公共工事積算用
現場管理費積上		"

見積りNo.はバージョンで
違う場合があります。

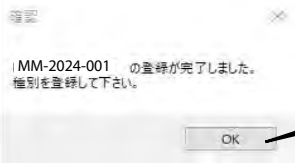
ここを読んで
入力して下さい。

下図が入力後の工事設定フォームです。

1- ② 入力後 “登録ボタン” をクリックして下さい。

フォーム編-02

登録ボタンを押すと
登録完了と種別登録メッセージが表示されますのでOKをクリックしてください。



OKをクリック

これで基本データの登録完了です。
見積元本体があるフォルダ内のMMみつもりDATAフォルダへ保存されました。
見積保存名は見積No.で保存されます。ここではMM-2024 -001[.xlsx]です。
[.xlsx]は拡張子です。設定により表示されない場合があります。
注) MMみつもりDATAフォルダのDATAは、.xlsxデータで保存されていて、開いて確認出来ませんが
データを直接変更しないでください。

2 見積工事種別名の入力

フォーム編-02

- 2-① 登録が終わると、工事設定フォームの工事種別ページに切り替わります。
フォームの1. 種目名 2. 科目名 3. 細目名 へ工事種別名を直接または選択で入力します。
※1. 種目名は必ず入力してください。
- 2-② ここでは1. 種目名に“**コンセント設備**”と入力して下さい。
※各項目名をリックしてリストを追加し、リストからの選択が可能です。
- 2-③ 入力が終わったら、工事設定フォーム中央の“**種別登録ボタン**”をクリックして下さい。
- 2-④ 種別一覧に種別No.及び種目名、科目名、細目名が表示されます。
※ここでは種目名のみ表示されます。
この時MMみつもりDATAフォルダ内のDATABookへ種別1シートが追加されます。

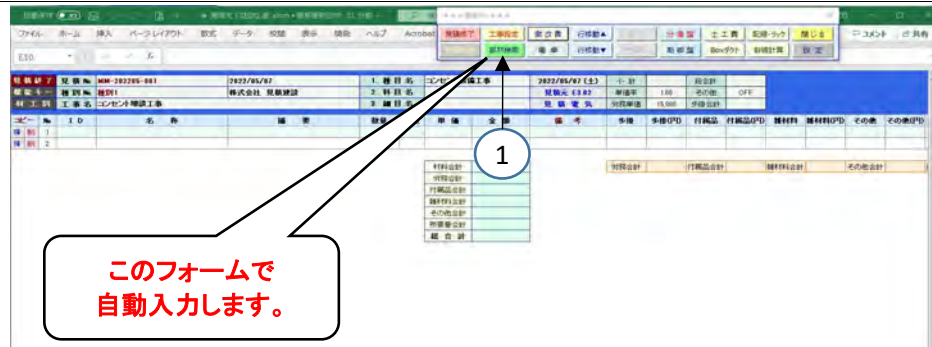
工事種別が複数ある場合は2-②～2-③の操作を繰り返します。

※工事設定フォームは邪魔にならない場所へ移動するか、終了ボタンで閉じてください。
再度開く場合は機能キー “見積設定”ボタンをクリックして再表示します。

次ページから見積もり明細の入力です。

3 各工事種別へ明細を入力

それではここから明細を入力しましょう。



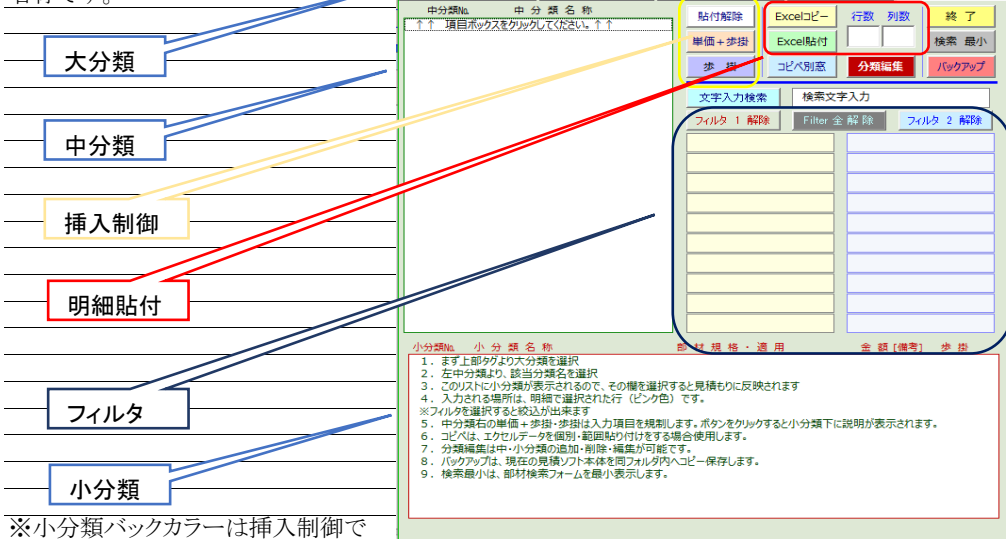
フォーム編-04

3-① 機能キーの“部材検索ボタン”をクリックして下さい。 ※クリックは左クリック

(図-3)、部材検索フォームが開きます。

(図-3)

明細入力に使用するボタンの名称です。



Point ※小分類バックカラーは挿入制御で色が変わります。

挿入制御ボタン単価+歩掛、歩掛をクリックした場合は、貼付解除をクリックして下さい。

3-② 明細入力行を選択しアクティブにします。

※行をアクティブにするにはID欄から単価、備考欄のどのセルを選択しても構いません。

図-4の②、選択した行はアクティブを示すピンク色になります。

(図-4)



フォーム編-04

3-③ 以下の部材を明細へ入力します。

3	名 称	摘 要	数量
部材1	厚鋼電線管 G22	露出	8
部材2	合成樹脂可とう電線管 PF22	隠ぺい	12
部材3	防水SUSプルボックス 接地端子付	200×200×150	1
部材4	アウトレットボックス	OB102-44	4
部材5	VVF2.0-3C	配管	12
部材6	VVF2.0-3C	天井内転がし	30
部材7	埋込型コンセント 新金プレート	2P15A×2接地端子付	3

部材の入力方法

- 3-④ 部材検索フォームより大分類タグで“配管・ラック・線び・ダクト”を選択すると
中分類“G 厚鋼電線管 電線管付属品”は最上段の為選択済みとなります。(図-5)

フォーム編-04

(図-5) 部材検索 大分類

4

受変電・架空・地中 エアコン・電動機・盤 照明器具・配線器具 弱電・火報 避雷・接地・塗装・搬入・土工

配管・ラック・線び・ダクト ボックス・防火区画 送電ケーブル・呼び線 弱電・光ケーブル 入力データ・その他

中分類No. 中分類名称

1	厚鋼電線管(G) 電線管付属品
2	防爆用配管(G) 付属品
3	ねじなし電線管(E) 電線管付属品
4	ねじつき電線管(C) 電線管付属品
5	合成樹脂被覆銅管(PE)・(GLT)
6	金属製可とう電線管(F2) 電線管付属品
7	硬質ビニル電線管(VE) 電線管付属品
8	PF・CD管(合成樹脂可とう電線管) 付属品
9	ケーブルラック ZM メラミン樹脂焼付塗装(P)
10	ケーブルラック ZT 溶融亜鉛メッキ仕上(Z)
11	ケーブルラック Z35 スーパーダイヤ(SD)
12	ケーブルラック SUS ステンレス鋼(S)
13	ケーブルラック AL アルミ製(AL)
14	ケーブルラック FRP FRP製
15	メタルモール(MM) 1種金属製線び
16	レースウェイ(MM2) 2種金属製線び
17	Fモール コモンモール MKダクト
18	MD 金属ダクト(ワイヤリングダクト)
19	バスダクト
20	ライティングレール・ファクトライン
21	ダクター・振止金物・吊り金物
22	配管・ラック支持材・ケーブルラック付属品

貼付解除 Excelコピー 行数 列数 終了

単価+歩掛 Excel貼付 検索 最小

歩掛 コピペ別窓 分類編集 バックアップ

文字入力検索 検索文字入力

フィルタ 1 解除 Filter 全解除 フィルタ 2 解除

共通事項 形・規格

隠ぺい 打込み	G 16
露出	G 22
隠ぺい 打込み(溶融亜鉛)	G 28
露出(溶融亜鉛)	G 36
付属品	G 42
付属品 露出ボックス	G 54
付属品(溶融亜鉛)	G 70
付属品 露出ボックス(溶融亜鉛)	G 82
ボンド・ラジアース	G 92

小分類No. 小分類名称 部材規格・適用 金額【備考】 歩掛

3	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 16	276	0.06
4	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 22		0.08
5	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 28		0.103
6	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 36		0.124
7	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 42		0.17
8	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 54		0.229
9	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 70	1,480	0.266
10	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 82	1,795	0.323
11	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 92	2,705	0.36
12	厚鋼電線管 (隠ぺい・打込)	G 104	3,065	0.402
13	厚鋼電線管 (露出)	G 16	276	0.072
14	厚鋼電線管 (露出)	G 22	353	0.096
15	厚鋼電線管 (露出)	G 28	479	0.1236

ここをクリックすると明細へ送信

- 3-⑤ 小分類のリストをスクロールしてNo.14の厚鋼電線管(露出)G22を“クリック”します。
※スクロールはリストの右スクロールバーで上下します。

Point リストが多い場合、フォーム右中央のフィルタ1, 2で絞り込みが可能です。

3-⑤でクリック後、明細のアクティブ行に選択部材(G22DATA)が入力され、同時にアクティブ行が1行下へ移動します。※この時アクティブ行が最下行の場合明細行が追加されます。

(図-6)

見積終了	見積No.	MM-202205-001	2022/05/07	1. 番目名	コンセント設置工事	2022/05/07(土)	小計	総合計	
得意先	種別	特別1	株式会社 見積建設	2. 科目名	見積元 E3.02	単価率	1.00	その他	OFF
工事別	工事名	コンセント増設工事		3. 備目名	見積電気	労務単価	15,000	歩掛合計	
コード	No.	1.0	名称	数量	単位	金額	備考	歩掛	歩掛(PD)
材料	1	E0001-014	厚鋼電線管 (露出)	G 22	m	353		0.096	0.25
材料	2								
材料	3								
材料	4								

- 3-⑥ 次に合成樹脂可とう電線管PF22 隠ぺいを明細へ入力します。
大分類の配管類は選択済みなので、中分類の8番目の“PF・CD管(合成樹脂可とう電線管)”をクリックします。
次に、小分類3番目の“PF22(隠ぺい・打込)”をクリックします。

- 3-⑦ 次に防水SUSプルボックス 200×200×150を明細へ入力します。
大分類タグの“ボックス・耐火区画”を選択し、中分類6番め“プルボックス ステンレス製 被せ蓋”を次にフィルタ2の“接地端子付”→小分類No.38をクリックします。

手順 6 7 で入力される

ここまで入力画面です。部材1～部材3

見積終了	見積No.	MM-202205-001	2022/05/07	1. 番目名	コンセント設置工事	2022/05/07(土)	小計	総合計	
得意先	種別	特別1	株式会社 見積建設	2. 科目名	見積元 E3.02	単価率	1.00	その他	OFF
工事別	工事名	コンセント増設工事		3. 備目名	見積電気	労務単価	15,000	歩掛合計	
コード	No.	1.0	名称	数量	単位	金額	備考	歩掛	歩掛(PD)
材料	1	E0001-014	厚鋼電線管 (露出)	G 22	m	353		0.096	0.25
材料	2	E0009-003	合成樹脂可とう電線管 PF管 (隠ぺい・PF-22)	m	08			0.041	0.25
材料	3	E0706-008	プルボックス SUS製 被せ蓋 E端子付 防雨SS200×200×150 WP-GLS	個	2700			0.215	
材料	4								
材料	5								

時短 コピー貼付による明細挿入が可能です。
 エクセルで作成された明細がある場合のコピー貼り付け方法はフォーム編 12ページ参照

3 - ⑧ 以下、部材4～部材7までの手順です。

部材4 アウトレットボックス OB102-44
 大分類→ボックス・耐火区画はそのまま→中分類 11クリック →小分類 1クリック

部材5 VVF2.0-3C 配管
 大分類→強電ケーブル・呼び線クリック→中分類 3クリック →フィルタ 1 管内クリック
 →小分類No. 5クリック ※フィルタは、1・2両方選択可能です。

部材6 VVF2.0-3C 天井内転がし
 大分類→強電ケーブル・呼び線そのまま→中分類 3そのまま →フィルタ 1 解除クリック
 →フィルタ 1 ビット・トラフ・天井内クリック →小分類 21クリック
 ※フィルタ解除は各フィルタ解除か、フィルタ全解除で行います。

部材7 埋込型コンセント 2P15A×2接地端子付
 大分類→照明器具・配線器具→中分類 17 埋込一体形コンセントクリック
 →フィルタ 1 新金プレート共 大角クリック→フィルタ 2 ET端子付Wコンセントクリック
 →小分類 43クリック

ここまでの入力画面です。部材1～部材7 ※バージョンにより異なります。

見積書 No.	見積書 No.	2022/05/07	1. 種目名	コンセント設備工事	2022/05/07 (土)	小計	総合計
種別 No.	種別 No.	株式会社 見積建設	2. 科目名		見積元 13.82	単価率 1.00	その他 OFF
工事名	工事名	コンセント増設工事	3. 細目名		見 積 電 気	労務単価 15,000	歩掛合計
コード	No.	I D	名 称	単 位	単 価	全 額	備 考
1	E0001-014		厚鋼電線管 (引出)	G 22	353		歩掛 (P/D)
2	E0009-002		分岐箱取付可とう電線管 (引出) (埋入) (P/F-22)	mm	89		付属品 (付属品/P/D)
3	E0009-003		分岐箱取付可とう電線管 (引出) (埋入) (P/F-22)	mm	2,760		
4	E0713-001		全周型ボックス 200×200×100 (埋入) (耐火区画)	個	278		2.25
5	E0003-005		ビニル絶縁ビニルシースケーブル (電圧) VVF 2.0mm-3C	mm	147		0.021
6	E0003-021		ビニル絶縁ビニルシースケーブル (電圧) VVF 2.0mm-3C	mm	147		0.021
7	E0017-043		埋込型コンセント 1連 新金プレート ET 2P15A×2 アースターミナル付き	個	665		0.067
8							
9							

3 - ⑨ 部材数量を入力します。
 入力セルを1回クリックするとキーボード入力が可能となり、もう1回クリックすると
 ドロップダウンリストより数字を選択可能となります。
 ※自動でセル移動した場合キーボード入力可能状態です。

注) ドロップダウンリストが表示された状態でのキーボード入力は出来ません。

数量入力後の明細画面及び合計画面です。

見積書 No.	見積書 No.	2022/05/07	1. 種目名	コンセント設備工事	2022/05/07 (土)	小計	総合計
種別 No.	種別 No.	株式会社 見積建設	2. 科目名		見積元 13.82	単価率 1.00	その他 OFF
工事名	工事名	コンセント増設工事	3. 細目名		見 積 電 気	労務単価 15,000	歩掛合計
コード	No.	I D	名 称	単 位	単 価	全 額	備 考
1	E0001-014		厚鋼電線管 (引出)	G 22	353	2,824	0.005
2	E0009-002		分岐箱取付可とう電線管 (引出) (埋入) (P/F-22)	mm	89	1,056	0.001
3	E0009-003		分岐箱取付可とう電線管 (引出) (埋入) (P/F-22)	mm	2,760	7,760	0.278
4	E0713-001		全周型ボックス 200×200×100 (埋入) (耐火区画)	個	278	1,080	0.389
5	E0003-005		ビニル絶縁ビニルシースケーブル (電圧) VVF 2.0mm-3C	mm	147	1,784	0.021
6	E0003-021		ビニル絶縁ビニルシースケーブル (電圧) VVF 2.0mm-3C	mm	147	4,410	0.027
7	E0017-043		埋込型コンセント 1連 新金プレート ET 2P15A×2 アースターミナル付き	個	665	1,990	0.067
8							
9							

この総合計は材料 + 労務費 + 付属品 + 雑材料 + その他 + 所要量の合計です。
 材料費はDATA×材料単価率 労務費は労務単価×歩掛です。

注) 歩掛、付属品～所要量までの率は公共建築工事標準単価積算基準を参考としています。

その他 は、下経費及び小器材の消耗費で、初期選定ではOFF(金額未加算)です。
 その他金額を加算するには、工事設定フォーム見積設定か経費タグを選択し、
 その他ボタンをON状態にしてください。
 その他ボタン ON・OFF 変更後の更新は不要です。

便利 明細～小計行を入力できます。
 方法は、備考欄ドロップダウンリストの小計をクリックして下さい。
 すでに入力済みの行で備考欄に小計を選択した場合は、その下へ行が追加され
 その行が小計行となります。
 小計行を削除する場合は、その小計行2列目の“削”ボタンをクリックします。

4 経費等の入力

明細入力が完了しました。ここから経費・値引き等を入力していきます。

- 4-① 工事設定フォームの左上「経費タブ」をクリックします。
 工事設定フォームが表示されていない場合は機能キー上段左から2個目をクリック。
 機能キー未表示の場合は明細作成画面の左、機能キーをクリックして下さい。
 下図が工事設定フォーム経費ページです。
 右の直接工事費が明細合計表の総合計です。 ※バージョンにより異なります。

フォーム編-03

(図-7)

- 4-② ☐ 枠内の項目へ経費等を入力します。
 ※説明では→項目を入力します。

項目	入力内容	入力方法
諸経費 →	リスト選択で10 % (※1)	リストより%入力か金額を直接入力
法定福利費 →	リスト選択で16 % (※1)	〃
安全対策費	未入力	〃
共通仮設費	〃	〃
〃 積上げ	〃	工事設定画面で入力(公共工事)
現場管理費	〃	リストより%入力か金額を直接入力
〃 積上げ	〃	工事設定画面で入力(公共工事)
端数切捨	〃	端数調整直接入力
値引き →	端数値引・値引き入力	値引き額直接入力

- ※1 法定福利費のパーセントは労務費に対する掛率です。
 法定福利費以外の各費用のパーセントは直接工事費に対する掛率です。

☐ 枠内計算は材料原価と単価の差額(収支)

労務原価と単価の差額(収支)の計算です。

労務原価選択リストで10,000円を選択した場合の収支は約10,900円です。 図-8参照

部材の単価率は見積登録時は全体、または単価設定時に個別設定可能です。

(図-8) 各経費及び値引き入力後の工事設定フォームです。

図-8 これで見積入力の完了です。
 総合計が見積金額(税別)です。

5 書式選択と印刷またはエクセルデータ出力

ここから、印刷及びエクセルDATA出力の説明です。

- 5-① 工事設定フォームの左上“印刷”タブまたは、機能キーの“見積印刷”ボタンをクリックします。
機能キー未表示の場合は明細作成画面の左、機能キー1をクリックして下さい。
印刷設定ページです。

フォーム編-03

- 5-② ☐ 枠内は印刷時の税別・税込の選択と、税率選択及び敬称の選択です。

- 5-③ ☐ 枠内のボタンの説明
枠内の総括・明細・総括明細・明細単抜をクリックして印刷ページを表示します。
保存ボタンで表示中の印刷データを、MMエクセルDATAフォルダへ出力します。
ボタンを押した時の表示及び出力内容

ボタン名称	表示及び動作
総括	リストより選択した見積の表紙を表示します。
明細	明細を表示します。
総括明細	表紙と明細を表示します。(縦=節約設定)
明細単抜	明細(金額抜き)を表示します。
保存	印刷表示されたページを保存します。修正保存も可能です。

- 5-④ ☐ 枠内のボタンの説明
背景色 明細行を交互に色を付けます。6パターンから選択して下さい。次回から最終選択パターンで表示します。
罫線色 明細行の横罫線の色を変更します。5パターンから選択して下さい。 〃
A4-縦 総括・明細の用紙向き設定です。
挿入無し 社判入→ロゴ社判入→挿入無し→ロゴ入→社判入、の順に切り替わります。
 ロゴ・社判ボタンの初期値設定はメンテナンスフォームより設定可能です。
 ロゴ・社判の形式は.pngです。見積元があるフォルダにロゴ.png・社判.png名で入れて下さい。
印枠無し 印枠-2、印枠-3で印鑑用の枠を表示できます。データはpng形式です。
 ※ロゴ・社判・印枠の作成方法及び各調整方法はフォーム編5ページ参照ください。
見積書 見積書→請求書→見積書、の順に切り替わり書式が変わります。
 ※請求書は適時書換えて下さい。

- 5-⑤ 右図が印刷表示の総括明細を押した画面の1ページ目です。
設定は縦向き・ロゴ社判入・税率10%で、背景色無し、罫線色は黒です。

総括が2ページ以上の場合、先頭行に総括内訳書の文字が入ります。

- ※ 用紙横の総括明細印刷の明細部分は別ページになります。
また、明細の各総括は別ページとなります。

用紙縦の総括明細印刷の明細部分は総括最終行の1行下から明細がはじまり、明細の各総括も同様連続で表示されます。用紙を少なく出来ます。

各総括を別ページとする場合は総括ボタン・明細ボタンで各々作成し必要に応じ統合して下さい。

- 以上が見積作成から印刷までの説明です。
- 公共工事の見積もりをする場合は、材料単価＝1 労務費を現在の公共工事設計労務単価にします。
- また、工事設定のその他をONにして見積を作成します。(公共建築工事標準単価積算基準参照)
- ※その他とは下請経費及び小器材の消耗品等で、工種毎の率による
- 歩掛・付属品・雑材料・その他・所要量は市場単価・公共住宅電気設備工事積算基準・公共建築工事標準単価積算基準・公共建築工事積算研究会歩掛りによります。

04-見積作成上の注意

別途計上すべき支持材料等

電線管等 労務には、管の切断、曲げ、支持金具類の取付、管内の清掃及び導通調べを含む。

雑材料には、支持金具類のうち取付金具を含むが、**支持材料は含まない。**

電線管、線び、ボックス、ケーブルラックの耐震支持材及び塗装は**別途計上**する。

配線工事 電線・ケーブルの分岐、接続、絶縁抵抗測定試験及び回路表示を含み、**機器接続は含まない。**

接地工事 労務は取付、結線及び試験調整を含む。

塗装工事 電線管、露出ボックス及び平板の現場における塗装に適用

機器搬入 機器を現場敷地内の仮置場から設置場所へ運び入れ、基礎上に仮据付を行うまでの費用であり、単独の機器の質量が**100kg以上の機器搬入について適用**する。

なお、機器は、受変電、電力貯蔵装置等とする。

電灯設備 配線器具、照明器具及び分電盤類に適用する。

労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

開閉器箱・分電盤は、労務費を表より算出する。なお、**材料費は別途計上する。** ※別途見積

受変電等 受配電盤、高圧機器及び工事材料に適用する。

労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

受配電盤、変圧器、高圧進相コンデンサ及び直列リアクトルは、労務費を表より算出する。

なお、材料費は**別途計上する。** ※別途見積

詳しくは、公共建築工事標準単価積算基準参照のこと

※MMみつりDATAフォルダ内の見積もりデータ(見積No.名データ)は編集可能ですが、くれぐれも、編集しないでください。

注) ※明細を直接入力する場合は下記に注意してください。

1、金額欄及び歩掛(円)～所要量(円)までの欄は入力できません。

2、単価入力材料単価のみとし、労務費は歩掛欄に労務単価×数量で除した値を入力してください。

a. 経費計算で法定福利費の金額を労務費より計算するため。

b. 材工別・材工共切替を正確に行うため

※材工共見積作成では、単価は材工単価 以下各項目へ金額及び率の入力が必要となります。

入力順番は、単価(労務費右で材料単価です)→歩掛→付属品→雑材料→その他→所要量→数量です。

単価(単位右材工単価)は自動で入力されます。

単価(労務費右で材料単価)を後入力した場合歩掛は変更されず、材工単価に材料単価が上乗せとなります。

3、見積編集フォームの見積保存ボタンが赤くなる場合があります。これは保存DATAと見積明細の値が

違う場合を意味しますが、総括移動・工事設定印刷への移動・見積終了他、上書き保存されます。

ただし、強制終了等が発生した場合DATAが保存されない場合があります。

05—新バージョン移行方法

フォーム編-10

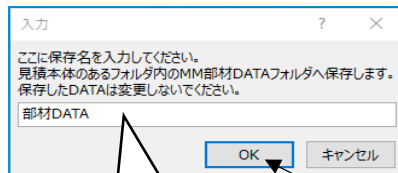
☆ 手順

- 1 現在使用中の見積元を開き、機能キーの ①「設定」をクリックします。

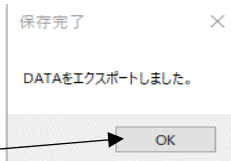
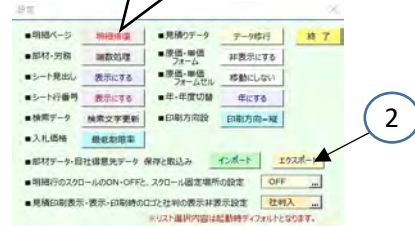


- 2 設定フォームが開いたらエクスポート②をクリックして下さい。

- 3 開いた入力ボックスに保存名を入力して ③「OK」をクリックします。



ここに入力

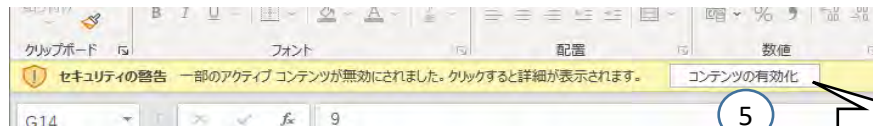


- 4 保存完了メッセージの ④「OK」をクリックして見積元を終了して下さい。

- 5 新バージョン見積元を現在使用中の見積元と同じフォルダに入れて下さい。

※新旧バージョンが同じ名称の場合は新バージョン見積元名を新しい名称に変更して下さい。

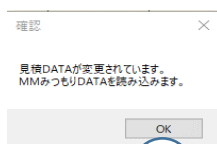
- 6 新バージョン見積元を起動して、⑤「コンテンツの有効化」をクリックして下さい。



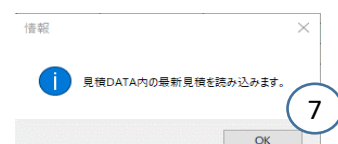
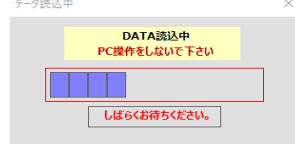
クリック

- 7 ⑤をクリックしてデータ読み込み後、⑥、⑦のOKをクリックして下さい。

フォーム編-10



6



7

- 8 ここからエクスポートしたデータをインポートします。
②で開いた設定フォームのインポートをクリックします⑧。

↓
ファイルを開くウィンドウから2、で入力した保存名のxlsxブックを選択し、ウィンドウ右下開くをクリックして下さい。

8

- 9 DATAインポートフォームの ⑨「全チェック」をクリックします。
チェックボックスにチェックが入ります。

- 10 DATAインポートフォームの ⑩「インポート」をクリックします。

9

10

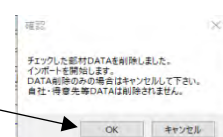
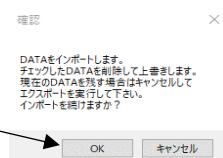
チェックボックス

- 11 インポート確認メッセージのOKをクリックして終了です。

確認メッセージ1回＝自社・得意先のみ選択時

確認メッセージ2回＝部材選択があるとき

機能キー以外のフォームを開じます。



06-データ読み込みでエラーが発生した場合は

連番・連番以降のチェックメッセージの場合

- ★ 見積元 E2 と同じフォルダ内の
 "MMみつもりDATA"フォルダをダブルクリックで開きます。
 見積データの名称の連番以降をチェックします。



見積ナンバーが"MM-2022-003.xlsx"の場合
 同名の見積ナンバーの後ろにPCユーザー名が入っている

- ① "MM-2022-003.xlsx"
 ② "MM-2022-003*****.xlsx" *****=PCユーザー名

更新日時をチェックして新しい方を残し、古いデータを削除またはフォルダ外へ移動してください。
 ②のデータを残す場合はPCユーザー名を削除してください。
 ※見積データを開いて確認しても大丈夫ですが変更上書きはしないでください。

ワークシートが読み込めないエラーが発生した場合

- ★ 見積元 E2 と同じフォルダ内の
 "MMみつもりDATA"フォルダをダブルクリックで開きます。
 見積データのサイズをチェックします。
 ※1)エクスプローラー詳細表示にしてください。



名前	更新日時	種類	サイズ
MM-2022-004_2.xlsx	2022/02/27 22:33	Microsoft Excel ワ...	13 KB
MM-2022-004_1.xlsx	2022/02/24 7:57	Microsoft Excel ワ...	15 KB
MM-2022-004.xlsx	2022/05/27 9:08	Microsoft Excel ワ...	15 KB
MM-2022-003.xlsx	2022/04/08 7:36	Microsoft Excel ワ...	18 KB
MM-2022-001.xlsx	2022/04/07 23:50	Microsoft Excel ワ...	13 KB

サイズに 0 KB があったら削除して、見積元を終了し、再度開いてください。
 ※保存時に上書き時間を要し、Excelが閉じる前に保存が完了しなかった場合まれに発生します。

- ※1 エクスプローラーの詳細表示は、表示ウインドウ内の何もないところで右クリックして
 表示(V)マウスポイント→詳細(D)をクリックします。

名前の行に"サイズ"がない場合は、その行を右クリックしてサイズにチェックを入れて下さい。

そのた、MMみつもりDATAフォルダ内へ別データを入れた場合にも読込エラーが発生します。
 MMみつもりDATAフォルダ内へ別データを保存しないでください。